第21回ローターアクト地区年次大会に参加した全員の集合写真（八潮メセナ・アネックス）

Governor's Monthly Letter

ガバナー月信

2008−09年度　国際ロータリー第2770地区

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂1−2−1−116
エイペックスタワー東館1階
ＴＥＬ：048・827・0022
ＦＡＸ：048・827・0011
E-mail：ri2770iwabuchi@plum.plala.or.jp

夢をかたちに

Governor Message

ローターアクトの育成と理解を

ガバナー　岩渕　均

3月4日、八潮ローターアクトがホストクラブとなり第21回ローターアクト年次大会が開催されました。

「ONE FOR ALL ！」の大会テーマの下、地区内10クラブのローターアクター、他地区の代表、そのOB・OG、更には提唱クラブのロータリアンなど総勢100名の立派な大会になりました。大会のプログラムは、1.ローターアクトのクラブ毎の活動報告、2.立入敏氏による講演会「創造性の出臍－あなたもこれが判れば必ず創造的になれる！」、3.ローターアクターによる駅前広場でのライブ演奏、そして4.懇親会と盛り沢山の内容でした。

私が感心したことは、当地区代表の大谷君が事前にプログラム内容の相談に来て、私の注文である「ローターアクトのクラブ毎の活動報告」をしっかりと入れてくれたことです。ロータリアンから、ローターアクトの活動が分かりにくい（もっとローターアクトの例会に参加しましょう）、という声があるため、活動報告をお願いしました。

各クラブとも、ポリオ撲滅のための募金活動や、街並みやトイレの清掃や、福祉施設の慰問などを、スライドを使用して説明がありました。日頃のローターアクトの活動を理解できたことと思います。

今年のRIテーマは「夢をかたちに」です。私の夢の一つは「ローターアクターの卒業生が将来ロータリアンになる太いパイプを築くこと」です。

この観点から、昨年8月に韓国で開催された世界ローターアクト大会である「INTEROTA」に参加して、世界のローターアクト活動に触れてもらいました。参加したローターアクターは、他国での活動状況を聞いて、また、英語で彼らと会話して、刺激を受けたことと思います。

2010年4月に開催される規定審議会には、ローターアクターの年齢制限を「30歳から35歳に引き上げる」提案をして、ローターアクターからロータリアンへのスムーズな移行を図っています。また、ガバナー月信でも、できるだけローターアクターの活動を紹介して、彼等の活動を側面からサポートしております。

皆様のご子息で30歳未満の方がいらっしゃれば、是非、ローターアクトクラブに入れてください。そして、若いローターアクターを理解し支援し、将来のロータリアンを育成することにご協力くださいますようお願い申しあげます。

2009.4　Vol.10

「ポリオ撲滅」の約束を果たそう

（３月号よりの続き）

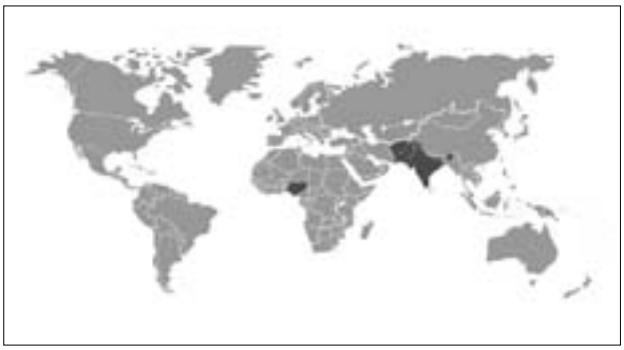
ガバナー　岩渕　均

４．ロータリーを中心とするポリオ撲滅運動の歴史（その２）

先に述べた「宿主が人間のみであり、有効なワクチンが存在し、ワクチンの効果が一生有効である」理由だと思いますが、ワクチンの投与に従い、ポリオ・ウィルス常在国は消滅してゆき、2006年にはポリオ・ウィルスの常在国はナイジェリア、インド、パキスタン、アフガニスタンの４ヶ国のみになりました。

1985年と2008年のポリオ常在国を示す世界地図

1985年（アジア・アフリカ・中南米等多数の国）



2008年（世界で４ヶ国のみ）

2008年７月に洞爺湖で開催されたＧ８サミットでも、「国際ポリオ根絶運動を支援するための資金的貢献を維持または増大させる」という合意がなされました。Ｇ８は８カ国（日本、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、英国、米国）ではありますが、資金的援助はポリオ根絶運動の総資金の半分以上を占めておりますので、大変強い味方です。日本政府は2008年も23億円拠出すると発表しています。

2009年１月、ロータリーの国際協議会でビルゲイツ財団がRIに2.55億ドルの寄付を約束。これに呼応してロータリーも１億ドルの募金を約束しました。2007年11月からの通算では、ビルゲイツ財団3.55億ドル、RI２億ドル、合計5.55億ドルになります。

ロータリーを中心とするポリオ撲滅運動の主な出来事

1978年： ３Ｈプログラム開始。
1979年： フィリピンで600万人を対象にワクチン投与。成功を収める。
1985年： RIが、「ポリオ・プラス」を開始し、１億2000万米ドルの寄付を誓約。
1988年： 世界保健機関（WHO）、ユニセフ、米国疾病予防センター（CDC）が参加。
1994年： 西半球が、2000年：西太平洋地域が、2002年：ヨーロッパ地域が無発生地域として宣言される。
2004年： 西アフリカと中央アフリカの23カ国において8000万人の子供を対象とした一斉全国予防接種日が行われる。
2006年： 歴史上、ポリオ常在国の数が最少を記録する（４カ国）。

５．資金面の推移

３月号で、「ロータリーはポリオ撲滅のために２億4700万ドル集めた」と書きましたが、一体ポリオ撲滅までにどれだけの資金を必要とするのでしょうか。これは、「いつポリオを撲滅できるのか」という質問と同様、難しい質問です。

ここではこれまでのロータリーを中心とする全世界の資金面での活動を紹介致します。

右表（表１：ポリオ撲滅運動に対する寄付の推移（1985－2013年））の合計（A＋B＋C）欄で分かるように、世界で毎年およそ７億ドル必要とされています。逆に言うと、ポリオを撲滅すると毎年７億～10ドルの費用が必要なくなると言われています。

2007年までにRIは6.44億ドル、アメリカは

13億ドル、イギリス７億ドル、日本３億ドル、寄付しています。ポリオ常在国のインドは４億ドルの資金を費やしています。2013年までに74億ドルに達する人類の一大事業であることがお分かりいただけるものと思います。

表１：ポリオ撲滅運動に対する寄付の推移（1985－2013年）

2009.1.15現在　単位：100万ドル

外部公的寄贈者	1985－2002	2003－2005	2006	2007	小計	2008	2009	小計	2010－2013	合計
アメリカ(CDC を含む)	695	396	132	133	1,356	130	90	220		1,576
イギリス	355	255	60	57	727	35	40	75	93	895
日本	209	90	14	20	334	15	0	15		349
カナダ	27	106	42	8	183	30	30	61	20	263
ドイツ	46	56	14	26	142	81	1	82		223
欧州委員会	28	90	28	37	183	8	1	10	1	194
その他	183	122	44	23	372	40	14	54	3	429
小計１（A）	1,543	1,115	334	306	3,297	339	177	516	116	3,929

その他の資金	1985－2002	2003－2005	2006	2007	小計	2008	2009	小計	2010－2013	合計
国際ロータリー	506	94	24	20	644	131	132	263	103	1,009
ビルゲイツ財団	50	58	19	23	150	48	110	158		308
世銀対インド融資	87	249	40	0	376	0	0	0		376
世銀	0	71	59	46	176	11	13	23	11	210
GAVI/IFFIm	0	0	0	29	29	44	59	103	49	181
WHO	12	37	14	21	83	19	0	19		102
UNICEF	18	21	14	8	61	8	0	8		69
インド(09－11projected)	0	51	144	238	432	130	135	265	222	919
その他	68	39	67	30	204	54	56	109	80	393
小計２（B）	741	618	382	414	2,155	443	504	947	465	3,567
重複分を調整（C）	0	－61	－８	－７	－76	－24	0	－24	0	－100
合計（A+B+C）	2,284	1,671	708	712	5,375	758	681	1,439	581	7,395

注１：データは「Global Polio Eradication Initiative」2009年２月18日付けホームページより。
注２：2007年までは実績,2008年以降は計画と推測した。
注３：ビルゲイツ財団から2009年１月に寄贈された2.55億ドルは上表に反映されていないものと思われる。

表２：2009－2013年資金の使途計画表（カテゴリー別活動）

単位：100万ドル

カテゴリー別活動	2009年	2010年	2009－10年合計	2011－13年
経口ポリオワクチン	225	184	409	108
全国一斉ワクチン投与	252	191	443	105
緊急事態への対応	60	45	105	95
監視	65	62	126	145
研究所	8	8	16	20
技術支援	102	100	202	229
証明書と封じ込め	5	5	10	30
製品開発	20	8	28	15
撲滅後のための備蓄ワクチン			0	49
小計（A）	737	603	1,340	795
資金調達予定額（B）	681	321	1,002	260
差引き要調達額（A-B）	56	282	338	535
要調達額の概数	55	280	335	535

6．ロータリアンの現地における活動

日本にはポリオが存在しないので、ポリオ撲滅運動の実際の活動が分かりにくいことは事実です。RI や Global Polio Eradication Initiative のホームページにロータリアンの活動が掲載されていますので、これらの記事から写真で示すことにします。

ロータリアンはボートを漕いであるいはラクダに乗って、ポリオ・ウィルスの存在する僻地までワクチンを届け、子供達にワクチンの投与を行っております。生ワクチンは注射によらない経口ワクチンなので（医者でない）一般のロータリアンでもワクチンを投与することができるのです。

エピローグ

7．ポリオ撲滅に殉じた二人の日本人ロータリアン

世界のポリオ撲滅運動の中で特筆すべき日本人がいます。麹町ロータリー・クラブの会員であった山田ツネ氏（1924－88年）と峰英二氏（1920－89年、医師）です。山田氏は、ポリオ免疫プロジェクトを始めることになった動機を次のように話しています。「私がインドへ行ったときのことです。夜遅くまで続いた会議の帰り、ギョッとして立ち止まった。ガサガサと音がしたのです。犬か猫が餌をあさっているのかと、音の方向を凝視した時、月の明かりで私が見たものは、芝生の上をやせ細った少年が、手と肘を使って這っている姿でした。それは、今思い出しても胸が締め付けられるような痛々しい光景でした。多分幼い頃にポリオにかかり、足が麻痺してしまったのでしょう。この少年の姿を見たとき、私は、南インドの子供たちを日本人の手でポリオから救いたいとの思いが生まれたのです。」

山田氏は、1981年からボランティアとして、インドのハシカ免疫プロジェクトである４週間

の奉仕活動に従事されました。その経験を生かして翌年、南インドのポリオ免疫プロジェクトを推進され、東京地区の100以上のロータリー・クラブの協賛を得て、奉仕の巾と効果を上げていきました。

山田氏に次いでポリオ撲滅運動に取り組んだ方が峰英二氏です。峰氏は、常に山田氏と一緒に、南インドでのワクチン投与の奉仕活動に従事され、度々インドに行かれ、活躍されました。その山田氏は1988年に、病に臥されその後間もなく逝去されました。病名は定かではありませんがインドでの風土病とも言われています。一緒にインドで活動された同僚の峰氏も山田氏の後を追うように、1989年に病没されました。

このお二人は、ポリオ撲滅活動を世界的規模の運動へ発展させた原動力となり、ポリオの撲滅に多大の貢献をなされました。お二人は、「世界からポリオを撲滅する」という目的達成を目前にした現在のこのプロジェクトの状況をどのように見ておられるのでしょうか？目的達成した暁には、直ちにお二人の墓前にその報告に伺いたいと思います。そしてこのお二人の功績を世界に知らせたいと思います。

（2580地区2007－08年度ロータリーのホームページより引用、一部加筆）

約束を果たそう！ポリオ撲滅

出典：

「医学がヒーローであった頃－ポリオとの闘いにみるアメリカと日本」大阪大学出版会、小野啓郎

「ポリオにうち克つ」国際ロータリー、ハーバード　A.　ピグマン

国際ロータリーのホームページ
http : //www. rotary.org/

Global Polio Eradication Initiative のホームページ
http : //www. polioeradication.org/

Wikipedia のホームページ
http : //wikipedia.org/

ポリオとの戦い（年表）

紀元前1500年	エジプト王朝時代の板碑に残るポリオの若者像。
1784年	アンダーウッド（英）、歴史上最初にマヒ疾患を報告。
1840年	ハイネ（独）、小児の脳脊髄性マヒを記録。
1887年	メディン（スウェーデン）、ポリオが伝染病であることを報告。
1928年	ドリンカー（米）、「鉄の肺」作製。
1949年	エンダース（米）、培養器の中でウィルスを増殖することに成功。
1951年	ポリオ・ウィルスに抗原性の異なる３株確認。
1953－1954年	ソーク（米）・ワクチンの大規模野外試験実施。135万人の二重盲検テスト。
1957年	セービン（米）生ワクチンの治験をソ連で実施。
1960年	北海道にポリオ大流行（患者数約6000人）
1961年	日本政府、ソ連とカナダから1300万人分の生ワクチンを緊急輸入。
1979年	RI、フィリピンで630万人にワクチン接種のプログラムを承認。
1985年	RI、ポリオ撲滅運動を開始。
1988年	WHO（世界保健機関）、166ヶ国全会一致でポリオ撲滅を決議。
1994年	西半球が無発生地域と宣言される。
1995年	RI 規定審議会、ポリオ撲滅が最優先課題であること全会一致で承認。
2000年	西太平洋地域（中国含む37ヶ国）が無発生地域と宣言される。
2002年	ヨーロッパ地域が無発生地域として宣言される。
2004年	西アフリカと中央アフリカの23カ国において8000万人の子供を対象とした一斉全国予防接種日が行われる。
2006年	歴史上、ポリオ常在国の数が最少を記録する（４カ国）。
2007年	ビルゲイツ財団１億ドル寄付。RI １億ドルのマッチング募金。
2009年	ビルゲイツ財団2.55億ドル寄付。RI１億ドルのマッチング募金。

IM 報告

第７グループ インターシティ・ミーティング

テーマ「広げよう、青少年交換の輪」

2009年２月14日(土)／久喜三高サロン

第７グループガバナー補佐　大塚　辰男

２月14日（土）第７グループの IM が行われました。

天気予報では大荒れという事でしたが、予想を裏切って暖かい春を想わせる天候に恵まれました。

世間では、100年に１度の未曾有の不景気というのに多勢の参加の基に開催する事が出来ました。

岩渕ガバナー、幸手・久喜両市長の祝辞を頂きました。

前年度、ガバナー補佐飯島雷次郎様と鳥海幹事に感謝を。

永年ロータリーに貢献を頂きました80才以上の16名に感謝状を。

そして、次年度を託すガバナー補佐金沢利幸様を紹介し会員の同意を得ました。

最後は各クラブの会長の活動報告を聞いて第１部は終わりました。

第２部では、ローテックスの皆さんによるテーマ（広げよう、青少年交換の輪）という題目で始まりました。

【体験談2007～2008年の留学生】

大貫彩さん　デンマーク　上尾西 RC
福田果菜枝さん　アメリカ　大宮北東 RC
本山南さん　ブラジル　岩槻 RC 岩槻中央 RC

皆さん、言葉や文化、食事の違いで大変苦労をしたようですが普段出来ない貴重な体験をされた有意義な経験だったと思います。

特に興味を持ったのが大貫彩さんのデンマークの話でした。高福祉・高負担で、医療や学校・給食・全部無料という事でした。

日本の麻生首相は中福祉・中負担と言うのですが、どちらが良いかは自分に問いかける所ではないかと思います。

第３部は高浜パストガバナーと関口研修リーダーよりご挨拶をいただき、飯野パストガバナーの乾杯で皆さん感謝の意を込めて賑やかにカラオケなどをやりながら楽しい懇親会になり、午後８時頃閉宴となりました。

IM 報告

第５グループ インターシティ・ミーティング

テーマ「夢をかたちに―可能性への挑戦―」

2009年２月18日(水)／桶川市民ホール

第５グループガバナー補佐　村山　勝正

私達、第５グループは２月18日（水）に、桶川市民ホールに於いて、IM を開催致しました。

当日は、岩渕ガバナー、大塚ガバナーエレクト、津田パストガバナー、川島次年度地区幹事にご臨席頂き、

一部　式　典（12：15～13：15）

二部　講演会（14：00～15：30）　一般公開

三部　懇親会（16：00～17：00）

の構成で、特に二部の講演会は、ロータリーやその活動内容等を広く理解してもらう為に、一般公開と致しました。

IM パンフレットには、岩渕ガバナーのメッセージはもとより、本年度の重点目標、国際ロータリーとは、綱領、四つのテスト等を掲載し、一方ではポリオ撲滅のパンフレットも併せて来場者に配布致しました。

会場は720席ですが、お陰様で満席でした。

講演会には、舞の海秀平氏を講師に依頼し、氏の新弟子検査の苦労話、又現役時代の曙との対戦の裏話など、小さい体で小結まで昇りつめ「夢をかたち」にした体験談を、時にはユーモアを混え、取組を型で示すなど、有意義な１時間30分であったと思います。

又、ポリオ撲滅の為の募金を行いましたが、総額85,833円の、ガバナーを始め来場者の貴重なお心を頂戴いたしましたので、地区に納めさせて頂きます。

多くの一般の方々のご来場を頂けましたのは、グループ内各クラブの会長、幹事を始め、メンバーの協力のたまものでありました。

本来の IM の型から一歩踏み出した型でありますが、当初の目的のひとつでありました、ロータリーを広く知って頂くことにおいては、多少なり効果があったのではと思っております。

以上、IM の報告とさせて頂きます。

舞の海秀平氏による講演

IM 報告

第10グループ インターシティ・ミーティング

テーマ「ペットボトルキャップでポリオ撲滅へ」

2009年２月21日(土)／松伏町田園ホール・エローラ

第10グループ　ガバナー補佐　染谷　良雄

松伏高等学校吹奏楽部による演奏

澄み切った青空の下、第10グループ、IM 開催に岩渕ガバナーをはじめ、吉川市長、三郷副市長、松伏町長、ロータリアン、米山奨学生、米山学友、ご家族、ご友人、地域の多くの皆様方を迎え開催いたしました。

第一部　演奏会

埼玉県立松伏高等学校吹奏楽部は、今年度高等学校 A の部に初挑戦し、全国大会出場と言う快挙を成し遂げることができた吹奏楽を聴き、会場の皆様が感動された事と思います。

第２部　式典

式典では国歌斉唱、ロータリーソングを吹奏楽で合唱して頂きました。岩渕ガバナー、吉川市長、松伏町長、三郷副市長、ご来賓の御挨拶

を頂き、第10グループポリオ撲滅チャリティーゴルフの寄付金を５クラブ代表者が岩渕ガバナーにお渡しされました。引き続き画像を使用し、グループ活動報告、５クラブ活動報告させて頂きました。

第３部　懇親会

吉川 RC 長谷川会長エレクト開会挨拶と藤田亘弘 PG にご挨拶を賜り、アルコール無での懇親会でしたが、有意義に会話そして親睦を図って頂けたと思います。最後に、三郷 RC 大熊正道次年度ガバナー補佐より５クラブ次年度会長幹事を紹介し次年度の抱負を述べ有意義に第10グループ IM が終了できました。

実行委員会に感謝し IM 報告とします。

エコキャップ回収運動を説明する染谷ガバナー補佐

2011－2012年度ガバナー・ノミニー指名

三 國　明（みくに　あきら）

勤 務 先　医療法人　春明会理事長
住　　所　春日部市下大増新田97－１
生年月日　1937年（昭和12年）８月25日生

ロータリー歴

1983年６月２日	春日部西ロータリー・クラブ　入会
1995－96年度	クラブ会長
2001－02年度	地区米山増進委員会　委員
2003－04年度	地区米山記念奨学学友委員会　委員
2004－05年度	第４グループガバナー補佐
2007－08年度	地区健康保持増進委員会　委員
2008－09年度	地区健康保持増進委員会　委員長

［ロータリー財団／米山奨学会］

ロータリー財団	第2回マルチプル・ポール・ハリス・フェローベネファクター
ロータリー米山	第６回米山功労者マルチプル

学　　歴

1967年(昭和42年)３月	東京医科歯科大学医学部　卒業
1974年(昭和49年)	医学博士号取得

職　　歴

1967年(昭和42年)４月	東京医科歯科大学第２外科　勤務
1974年(昭和49年)８月	みくに医院開設
1982年(昭和57年)４月	みくに病院開設
1998年(平成10年)３月	老人保健施設ちとせ開設
1998年(平成10年)３月	訪問看護ステーション　すみれ開設
2009年(平成21年)１月	みくに中央クリニック開設

その他歴任

春日部市医師会理事
春日部市国保運営委員、春日部市介護認定審査会委員
共栄短期大学非常勤講師
春日部市豊春小学校学校保健委員会委員長

米山記念奨学生だより

チャンコントゥアン

国籍：ベトナム
大学・課程：共栄大学国際経営学科
世話クラブ：幸手 RC

経営者になる夢を抱いている私はいつか、ベトナムでファストフードの事業を起こすのは１番の夢ですが、それを叶えるのに十分な資金はもちろん、ベトナムの当時経済状態と経済発展方向を把握することも決して欠けてはいけないのです。しかし、長い間ベトナムと離れているため、ベトナムの現在の経済状況、将来の発展方向など私は把握しかねます。学生である無産階級の私は両方とも欠けていることに対してどうしたら夢を叶えるのか、たくさん考えました。

“業界の中では経営者であり、専門的な技術を持っている者か、技術者であり、経営の知識を持っている者しか生き残れないのだ”と、いつも先生が教えてくれました。私も強くそう思っています。経営学部で学校の４年間を使い、経営知識（リーダーシップ人格、会社法など）をしっかり身につけるつもりです。ベトナム人に適応な日本の飲食習慣を真似したいので、アルバイトは飲食関係の仕事を日本にいる間に頑張って続いてやっています。しかし、知識、技術があっても資金がなければ何も始まらないのです。そう考えて、夢の事業を始める前に何らかの方法でお金を稼がざるを得ないのです。アルバイトあるいは正社員にしても10年間程の時間で頑張って貯金しなければ、何も始められません。ですので、起業を考えました。改革した法律では、事業に必要ではない資本金は１円しかなくても起業できるのです。通販であれば、30万円以下の資本金では起業を実現するのは可能で、やってみる価値もあると考え、インターネットで商品を販売したり、資本金あまり必要のない通訳、翻訳したりする事業を起こすのは私の目的です。

現在、卒業要件を満たしながら、IT ビジネスコースを選び、Website を立ち上げ、管理などを勉強し、学校が卒業するまで、一つの会社のホームページを作成、運営させられるのはターゲットです。その以外、会社法も学校で勉強しながら、自分で調べています。

それは私の大学３年生の学業状況です。

夢を叶える、その余裕を与えてくれるのはロータリアンの皆様のおかげです。本当に心からいつも感謝しています。

地区チーム研修セミナー開催報告

「ロータリーの未来は　あなたの手の中に」

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

次年度地区幹事　川島　紹佑（上尾 RC）

2009～2010年度の「地区チーム研修セミナー」は、３月７日（土）大宮ラフォーレ清水園に於いて、157名の出席者を得て盛会裏に開催する事ができエレクト事務所関係者一同、参加者の皆様のご協力に感謝いたしております。

当日は、岩渕均ガバナー、津田健三次年度研修リーダーのご挨拶に続き、大塚信郎ガバナーエレクトより、アメリカ・サンディエゴで本年１月に開催されました国際協議会の研修報告があり、同時に「次年度 RI のテーマと地区運営方針」の発表がありました。

大塚ガバナーエレクトは、ジョン・ケニー RI 会長エレクトが2009－10年度の RI テーマを「ロータリーの未来はあなたの手の中に」とした事。そして「私たち一人ひとりは、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているとたとえることができます」この鎖が解けることなく強く永続していかなくてはなりません。と訴えられた事、等々の RI 会長エレクトの次年度活動方針の詳細な説明を行い、次に地区スローガンとして、寛容の精神・慈愛の心に満ちたロータリアン「今こそ私たちの出番です」を掲げ、「地区チームの皆さんの豊富なロータリー知識と経験の協力があれば、収穫多い素晴らしいロータリー年度になります。ロータリーの未来のために、来る年度で各クラブが、継続性をもち、効果的な奉仕活動できるよう私と共に頑張りましょう」と結ばれました。

休憩後、部門別セッションを行い、部門委員長を中心に、次年度の委員会活動方針が検討され、また、別室ではガバナー補佐のセッションも同時に開催されました。

続く第２本会議で、各部門より協議内容の報告がなされ、岩渕均ガバナーの講評と激励のお言葉をいただき、意義ある地区チーム研修セミナーを終了することができました事を、報告申し上げます。

熱心に聴く地区役員。会場は満員でした。

青少年交換スキーツアーに参加して

2月13日（金）～15日（日）開催

2月13日(金)～15日(日)に青少年交換スキーツアーが菅平スキー場で行われました。ツアーに参加したメンバーからコメントが寄せられていますので、その一部を紹介いたします。

アレクシスです。私はながのにかきます。このスキーりょこうはメチャメチャたのしかったです。この時ははじめてのスキーがなくてけれどこわかったです。スキーリフトはこわいだってたかいの山もこわかったです。私はたかいところが大きらいです。
スキーってもっと上手になりました。ありがとうございました。ウィシュ！

バーバラです。わたしはスキーがはじめてでした。スキーはもずかしですでもとてもたのしかった。ありがとうございました。

キャサリンです。私はスノーボードがはじめてでした。アメリカのフロリダへからきました。だから、ゆきがありません。スノーボードはたのしかったです。でも、むずかしかったです。もっかいやりたい。先生はしんせつな人でした。たくさんをおしえた。ロたり人、ありがとうございました。♡

ケイトリンです。私はカナダ人ですがスキーもスノーボードもやたことない。このりょこうはすごく楽しかったです。私はスキーをやってみる。さいしょはとてもむずかしかったです！そのあと、スキー出来た！スキーの先生はとても上手です！ロテクスの「節分」もおもしろかったです。
本当にありがとうございます！

花莉奈です。私はスノーボルチィングしました。
スキーチウリプの天気はとても変です！
たくさんきりありました。

毎日スノーボルチィング行きました。私のグルブはヘンーァとさちぇ。
スキのりょうこはとてもたのしみでした。もいかい行たいー♡
みんなさんありがとうございました。

ミッコです。さいきんスキーをしませんでしたからスキーりょこうは本当に楽しかったです。だけれどあんまり下手じゃありませんでした。日本の山がとてもきれいですと雪が大すきです。食ものがおいしかったです。どうもありがとうございました。

ヴィンセントです。さいきん私はスノーボードしました。スノーボードはとてもおもしろいかったと楽しかったですけどとてもたいへんなぜなだあつかったと雪はとてもむずかしいでした。私たちスキー旅行のゲレンデはとてもきれいでした。

スティーブンスクラーです。アメリカからきました。スキーりょこはたのしかったです。みなのロタリ人はやさしかったです。せつぶんとてもおもしろかったです。スキーの山すごくきれいでした。ありがとござました。

アンナです。このスキー旅行はとても良かったと思います。スキーすることが大好きとさしぶりに雪を見たなのでよろこびました。
本当に楽い三日間でした。皆さんにありがとうございました。

ヘンナです。スノーボーディングたのしかった。
てンきがいいですた。
つかれちゃったでもほんとにたのしかった。
みんなといしょうにあそんでうれしかった。
ありがとうございました。

シンシアです。スキー楽しいでした。私は初めてスノーボーディングをしました。ずいぶん痛かったけどちょっとできたかもしれません。三日間に天気は良いでした。みんなと一緒にスキーツアーに行いて本当にうれしでした。みんなからいろいろなたすけてもらってありがとうございました。

ミミーです。スキー旅行はとてもおもしろいかったと楽しかったです。

2008～2009年度　第21回 全国ローターアクト研修会に参加して

国際ロータリー第2770地区　地区ローターアクト代表　大谷　翔

２月21・22日に長崎≪国際ロータリー第2740地区（佐賀・長崎）ホスト≫にて開催されました【第21回全国ローターアクト研修会】に参加してきました。

私は、ノミニーに選出された時期が遅かったことから、今回が初めての全国ローターアクト研修会出席です。全国34地区から大勢のアクターとロータリアンが集結する今大会は、想像していた以上に規模の大きなものでした。

今大会のテーマは『E』～Evolution･Ecology･Emotion･Enjoy･Eternal～でした。私は、代表部門の本会議で会議室に缶詰めになっていましたが、その議案の中にもいくつかの『E』が並び、今大会は、この５つの意味を込めた『E』というテーマにふさわしく、本当に素晴らしい研修会であったと感じています。

また、この全国ローターアクト研修会の２日間を通して、普段はなかなか接点を持つことのできない関東以外の、それこそ北海道から鹿児島まで多くの地区の代表と話をすることが叶い、今後の国際ロータリー第2770地区 RAC を盛り上げる E（良い）ヒントをたくさん得ることが出来ました。

私たち国際ロータリー第2770地区 RAC は２年後の第23回全国ローターアクト研修会（2011年２～３月）のホストを隣の2570地区と2580地区の３地区合同で開催することが決まっています。そういった意味でも、今大会は参考にするところ・勉強になるところが多く、今後は、２年後に迫る全国ローターアクト研修会に向けて実行委員を中心に、友好３地区で協力して本格的に活動に励んで行きたいと考えています。

第21回ローターアクト年次大会

国際ロータリー第2770地区　地区ローターアクト代表　大谷　翔

立入敏氏による講演「創造性の出臍」

先日、３月14日（土）に行われた当地区ローターアクト地区年次大会に岩渕ガバナーをはじめ数多くのロータリアンの皆様、友好地区の皆様に登録、そして出席していただき誠にありがとうございました。

今大会は八潮ローターアクト・クラブをホスト・クラブとし八潮メセナ・アネックス（八潮駅前ビル内）にて開催しました。

今大会を開催するにあたって私たちは半年前から実行委員会を立ち上げ準備をして来ました。当日は朝から雨や風が強く、電車の遅れも出ているとの情報もあり無事開催できるか心配ではありましたが、徐々に雨はおさまり大過なく開催することができました。

式典では､地区内ローターアクト･クラブの活動を報告させていただき、ロータリアンの方にもローターアクトの活動を少しでも知っていただくよい機会になったのではないかと思います。

メインイベントである記念事業では、立入敏様による講演「創造性の出臍～あなたも創造的になれる～」をいただきました。クイズを交えた講義形式の講演はとても面白く、クリエイティブな発想するための方法など４月から社会人になる私にとってとても勉強になる講演でした。

懇親会場を設営する時間を利用して八潮ローターアクト･クラブ会員によるストリートライブを行いました。懐かしい曲からオリジナルの曲まで演奏してもらい会場を暖めてもらいました。

懇親会では通常の料理のほかに、寿司職人を呼び実際に目の前で握ってもらいました。握りたてのお寿司はとてもおいしく、皆さんにも満足していただけたのではないかと思います。

今大会を通してこのようなイベントを催すことがいかに難しく、そして面白いことなのか実感することができました。このような経験ができるのもアクトならではでないかと思います。このような経験をさせてくれたロータリークラブの皆様、そして年次大会に参加していただいた皆様に感謝したいと思います。

地区ローターアクト・ライラ委員長　並木 幸治（川口北東）

第21回地区年次大会が３月14日（土）八潮メセナ・アネックスで盛大に開催されました。

当日は、春の嵐が吹き荒れ心配しておりましたが、夕方には雨も止み、予定していました屋外でのミニライブも無事終ることができました。

来賓の八潮市長、ガバナーのご祝辞をいただき、今大会ターゲット「one（ワン） for（フォア） all（オール）　一人がみんなの為に活動する」のテーマのもと一人ひとりの役割を全員が協力して、本大会が成功裏に終ることができました。天候の悪い中、大勢のロータリアン、友好クラブのローターアクトの皆様のご登録をいただきありがとうございました。

開催に当たりご準備をいただいた､ホストの大役である､八潮ローターアクトの皆様に感謝申し上げます。

新会員の声

積極的に関わります

浦和ダイヤモンドロータリークラブ　高瀬　経秀

昨年８月に入会させて頂きまして、約半年が経過致しました。入会前は、ロータリーは地元の名士のみが集う場所で、私のような30代の人間には敷居が高く場違いな場所と感じておりました。

高校の先輩の薦めで入会させて頂きましたが、当初はロータリークラブのことはほとんど理解しておりませんでした。半年がたち、まだロータリーの活動や用語など分からないことも多く戸惑いもありますが、先輩会員の皆様に温かく迎えて頂き、今では毎週の例会が待ち遠しく感じています。

私はクラブ最年少の立場ですので、まずはクラブの活動に100％参加し、クラブ内の雑事などに積極的に関わることにより、少しでもお役にたてる人間になりたいと考えております。まだロータリーの掲げる「奉仕の精神」に基づいた高い倫理的・道徳的な行動はできておりませんが、ロータリーの活動を通じて先輩会員の皆様から多くのことを学ばせて頂きたいと思っておりますので、今後ともご指導宜しくお願い致します。

只一燈を頼め

蓮田ロータリークラブ　岩崎　一隆

「一燈（いっとう）を提げて暗夜を行く。暗夜を憂うること勿（なか）れ。只（ただ）一燈を頼め。」とは西郷隆盛が愛読した佐藤一斎『言志四録』の一節。一燈とは真理のことだろう。先月26日日経夕刊「波音」より引用。地域の新年会では挨拶の枕に、米国より端を発した、あるいはリーマンブラザーズの破綻から、あるいは1930年代の金融恐慌に匹敵するといった話を頻繁に耳にした。不思議と、ロータリークラブの会合ではこの種の話は意外と少ない様に感じられた。余裕とゆとりは似て非なるものだと思うが。入会したては、諸先輩のご指示の通りに。昨年より例会の次第に「四つのテスト」が追加された。言行はこれに照らしてから、ひとつ

真実かどうか　ひとつ‥‥冒頭の記事を読んだとき『真理』と『真実』の文字が重なり掛けた。早いもので入会して三年。仕事も、ロータリーも無我夢中、いや五里霧中で歩んで来た。まさかこんな事に成るなんて誰も予測して無かった。将に暗夜を行くが如し。ハムレットではないが、「To be, or not to be, that is question」。将にこれが問題だ。

ロータリーとは？ 奉仕とは？ 例会とは？

大宮北東ロータリークラブ　池田　哲也

2007年７月、お誘いを受けるまま入会し、一年半がたちました。入会式には蒼々たる方々の見守る中、当時の東条Ｇ補佐にロータリーバッジを付けていただきました。東条Ｇ補佐には個人的に入会の記念品まで頂き、感激したのを覚えています。

それからあっという間に月日は流れ、未だにロータリークラブのことをよく理解しているとは言えませんが、毎週の例会出席とロータリーの友を読むことが理解の早道だと教えられました。まさにその通り、その道のプロの方の卓話や、人生の先輩方のお話を伺い、さまざまな人との出会いがあり勉強させていただいています。これからも、ロータリー道なるものがあるならば、自己研鑽に努めるとともに、積極的に活動に参加し理解を深めていきたいと思います。

そしてロータリーの素晴らしさを一人でも多くの人に知ってもらうには、一人でも多くの会員増強だと痛感しています。

人生の岐路

桶川イブニングロータリークラブ　堀口　勝男

私は平成19年10月入会致しました堀口勝男と申します。

人生の節目50歳のイベントとして、たどりついたのがロータリークラブへの入会でした。五体満足に生まれ何不自由なく過ごせた人生。辛い事、悲しい事、苦しい事それは当たり前の人生。全てが自分の研鑽であって、自分以外に目を向けているゆとりが有りませんでした。これからは、自分ではなく、さまざまなハンデを持った人達に対し、積極的に奉仕活動をして行きたいと思いました。

例えば知的障害者の方々です。障害レベルはさまざまですが、一般生活には支障がありサポートが必要な事はしばしばな状況。

両親は高齢者となり、我が娘、息子の面倒を見る事が体力的にも難しくなります。更に将来の不安として、「生活していく糧は有るのか？」「生活していく家は有るのか？」等の解消されない問題があり、不安な毎日です。

こういう方達に私は、奉仕活動のパイプ役とし皆を集いボランティア活動を通じ、その方々を支える事が出来ればと思い奉仕の場を見つけました。

文明が進化しても地道な奉仕活動は進化しません。だからこそ自分がやれる事は何か。どんな小さな事でも積極的に取り組んで行きたいと決めました。

人生の岐路を新たなスタートとし日々精進してまいりたいと思っています。

ロータリー入会3年目を迎えて

越谷北ロータリークラブ　中澤　広樹

私が、ロータリークラブに入会するきっかけは大変不思議な経緯からでした。私の親父が、病気で入院していました時に、お見舞いに来ていただいた方と親父が、勝手に私がロータリーに入会する話が出来てしまったのです。後は、言われるがまま、オブザーバーで参加させていただき、入会書類を書き、入会する運びとなりました。『自分の意思は無いのか』と思われるでしょうが、頑固な親父ゆえ、紹介を受けた方は断れない方ゆえ、しょうがないというあきらめ、でも自分自身が、新しい世界を知るのもありかな？と思い入会をさせていただき、2年半が経ちました。

入会当初は、会員の顔と名前を覚えるのに大変苦労し、例会にただ参加するだけで、なかなか馴染めない日々でした。例会に出席する事を習慣化することに大変抵抗がありました。2年目に出席会場委員になる事で、多少、1年目よりも参加意識が生まれました。3年目の今年度は、会報委員長を仰せつかり、苦悩との戦いです。自慢にも、パソコンなど得意でも好きでもなく、出来ればやりたくない事でした。そうかと言って、他に自信を持って出来ることもなし、引き受けてしまいました。結論から言うと、『やってよかった』と今は感じます。パソコンは、初級者でしたので、『見ること、聞くことチンプンカンプン』で、おまけにパソコンは、全然、思った様に動かず、目は疲れ、肩はこり、ストレスとの戦いで大変、往生しました。でも、お陰様で、会報委員の方々は、精通された人ばかりで、大変、親切に御指導いただき、何とか、一杯一杯の所で会報作りしています。判らない事が多く、お聞きした方には大変ご迷惑をお掛けいたしましたが、『一つの共通の事柄を通じて、親密になれた事』、『ロータリー活動を段々理解出来るようになった事』『パソコンの勉強をさせて頂いている事』等、ありがたく感じております。

以前、新入会員の集まりが有りました時にガバナーの方が、『ロータリーは、自分で積極的に参加しないと面白くないですよ』という言葉を、実感しています。

新会員の方々で、早くロータリーを知りたいと思われる方は、ぜひ、会報委員をなさっては、いかがでしょうか？ロータリーを知る一番の近道だと思います。それと行事にも積極的に参加されたほうが良いと思います。ゴルフ、飲み会なんでも良いと思います。参加意識を持つ方が楽しくなると思います。

ロータリアンは、『仕事、お金、時間、心』にゆとりを持つ人たちの集まりだと思います。
そうなれる様、日々送りたいと思います。

今後も、宜しくお願いいたします。

連載 第十回 ロータリー情報ニュース

「例会の尊さを考えてみましょう」（例会は自己研さんの場である）

ロータリー情報委員長　瀧田　和雄

私どもロータリアンは例会に出席することが義務付けられております。制定案07－14で次のように記されております。「年度の各半期間において、メークアップを含むクラブ例会出席率が少なくとも50%に達していなければならない」とあります。

皆さんはこうしたことを意識して例会に出席しておられるでしょうか。例会への出席について過去のロータリアンが色々な事を述べておられます。例えば「例会に出席することは意識したことがない。例会日になると自然に会場に向かって歩いている」又、ある人は「一種の麻薬みたいなものだ。出席しないと大きな忘れ物をしたような気がする」等と色々な言葉を耳にします。こうした意見の方は、例会に出席することが「楽しくてしょうがない」会員でしょう。反論も沢山あることは当然であります。

反面、これと全く反対の意見を持っておられる方も大勢おられる筈です。何故なら「仕事が忙しくて例会に行っている暇がない」とか「例会に出席しても少しも為にならない」。「例会は楽しく有意義である筈なのに全然楽しくない」そして「暇がある人が行けば良い」に至っては何をか言わんやですが。

ロータリーの魅力が昨今急速なカーブで低下していることは賢明なるロータリアンはご承知のことと思います。地区においてのいろいろな行事や各種研究会、クラブにおいては奉仕活動など必要欠くべからざる行事は目白押しです。然し、ロータリーの魅力は例会の充実にあるのではないでしょうか。

例会を充実させ会員が「何をさておいても出てみたい」と思うような魅力ある例会運営こそ「例会に出席しないと損をした」と思わせる大切なことではないでしょうか。何年も何十年も言い古されてきた言葉かもしれません。然し、現実なのです。それを今から95年前にハッキリと言葉にした人がおりました。それはかの有名な「ロータリー通解」の著者ガイ・ガンディーカーです。彼は次のように書いております。

「ロータリーの奉仕とは、良質な職業人が例会において自己研さんを遂げ、一例会が終わるごとに自分の心の世界が深くなり、高くなり、自分の力量が大きくなっていくことを意味するのであって、実力の涵養と人格の形成が根本である。こうして自分の人格のエネルギーが社会万般を潤すことになる。これがロータリーの奉仕である」と。

会員の減少を社会の経済の低迷と断言できるでしょうか。当然大きな要因であることは間違いありません。然し、「わがクラブの例会は楽しいよ。出席すれば何か得ることがあるよ」と誇れる例会にしてみたいものです。そうすれば退会者も減少するはずです。「言われなくても判っている」……その通りでしょう。

大塚ガバナーエレクトは次のことを提案されました。

次年度の出席率を95%目標にしよう

例会の充実こそこの目標を達成できる唯一無二の手段であると確信しております。

連 載

ロータリーの職業倫理訓逐条解説（10）

全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓

職業倫理委員長　青木　伸翁

第９条　　社会秩序の立場から、他人が絶対に認めないような不正な方法によって機会を利用し、これによって得た人の成功を正当または倫理的なものと考えてはならないこと。また、物質的成功を得るがため、人が倫理的に問題ありとして退けるような機会に乗ずるがごときことをしてはならない。

いくら儲かることであっても、その手段が非倫理的なものであれば、それは正当な成功として評価してはならない、またそういう儲け方をしてもならないということです。しかし、とかく金が物言う現在「少しくらいやましい、危ない橋は渡っても、大きな成功が得られればいいじゃないか」式の考え方がまかり通る世の中ですが、少なくともロータリアンたるもの、その成功のための目的と手段は常に倫理的な評価に耐えられるものでなければならないということです。

「世界の王監督」のこんな話があります。王監督が早稲田実業高校１年の春、当時、投手だった王監督が強豪相手に完封勝ちして派手に喜ぶ姿を見て、10歳上の兄、鉄城氏が「負けた相手の気持ちを考えなさい」と厳しく叱ったことがあったそうです。その後の王監督はプロ野球の世界に入り、本塁打の世界記録を持つほどの大選手になり、全国民を喜ばすことになりますが、本塁打を打ったときも常に感情を表に出さない振る舞いは、「相手の身になれ」という鉄城氏の訓えがあったからです。

これは企業経営者にとっていえば、自由経済社会の中で企業が利潤の追求を行い競争に勝とうとするのは当然だが、その場合、自分さえよければというのではなく、企業戦争に負けた相手でも納得するようなやり方で、更に言えば自分の利益追求が社会万般をも潤すようなやり方で、つまりその周囲の取引関係の人々が皆栄えるようなやり方で、企業経営をやらなければならないということです。そうなると、自分が儲かることは社会も儲かることになるわけで、堂々と胸を張って自分の企業を発展させることができるということです。

1923年の決議23−34号の第１項が「ロータリーとは利己と利他の調和を目的としたところの人生の哲学を言う」と言っているのはこのことなのではないでしょうか。

次回５月号は

第10条　自分は、一般人に対して義務を負う以上に同僚たるロータリアンに対して義務を負うものではない。ただしロータリーの真髄は競争ではなくして協力であるからであり、また党派心はロータリーのごとき制度においてはあってはならず、かつ人権はロータリーの内部に限られるものではなく、その範囲とその重要性とにおいて人類そのものの存在と同程度のものであることをロータリアンは主張するものだからであり、かつまたロータリーはこの高邁な理想に向かってすべての制度に属するすべての者を教化するために存在するものである。

RI表彰にチャレンジしましょう！

締切日が迫っているもののみお知らせします。詳しくは手続要覧 P75〜78をご覧ください。

RI 会長賞

締め切り日が迫っていますので（RI への提出締切日４月15日）、所定の申請書に記入の上ガバナー事務所宛て至急提出願います。会員純増１名のクラブは是非申請してください。

協同プロジェクト最高賞（最大５クラブ）

本賞は、地元、全国、あるいは国際レベルにおいて他団体と協同で実施された卓越した人道的奉仕プロジェクトに対して、クラブを表彰するものです。RI への提出締切日は４月15日ですのでお急ぎください。

お問合せはガバナー事務所（TEL：048−827−0022）まで

ロータリー財団

大口寄付 39,250＄
ベネフェクター(7)
メモリアル コントリビューター

東条和彦
（大宮東）
平成21年２月17日

大口寄付 18,330＄

吉田　肇
（川口西）
平成21年１月13日

大口寄付 13,000＄
メモリアル コントリビューター

河本順子
（大宮東）
平成21年２月13日

大口寄付 12,260＄

中里公造
（川口モーニング）
平成21年３月７日

M･P･H･F(6)

海老原邦延
（川口西）
平成21年２月13日

M･P･H･F(4)

藤田　篁
（川口西）
平成21年２月13日

M･P･H･F(4)

高橋明賢
（川口モーニング）
平成21年２月23日

M･P･H･F(4)

原田　猛
（戸田西）
平成21年２月27日

M･P･H･F(3)

飯嶋　隆
（三郷）
平成21年２月９日

M･P･H･F(3)

白石茂喜
（三郷）
平成21年２月９日

M･P･H･F(3)

三國　明
（春日部西）
平成21年２月26日

M･P･H･F(2)

木幡　毅
（三郷）
平成21年２月９日

M･P･H･F(2)

藤波　貢
（上尾北）
平成21年２月13日

M･P･H･F(2)

大木保司
（上尾）
平成21年２月27日

M･P･H･F(2)

熊木照男
（戸田西）
平成21年２月27日

M･P･H･F(2)

熊木秀夫
（戸田西）
平成21年２月27日

M･P･H･F(2)

細井喜久雄
（庄和）
平成21年２月27日

M･P･H･F(1)

岩田秀明
（川口モーニング）
平成20年９月４日

M･P･H･F(1)

影山源三郎
（杉戸中央）
平成21年１月29日

M･P･H･F(1)

有明京子
（三郷）
平成21年２月９日

M･P･H･F(1)

井原　實
（さいたま新都心）
平成21年２月17日

M･P･H･F(1)

堀　奉之
（大宮南）
平成21年２月20日

M･P･H･F(1)

北林辰哉
（上尾）
平成21年２月27日

M･P･H･F(1)

関口治信
（戸田西）
平成21年２月27日

P･H･F

桜井敏勝
（川口モーニング）
平成20年９月４日

P･H･F

山口宣道
（川口モーニング）
平成20年９月４日

P･H･F

金子一男
（松伏）
平成20年11月14日

P･H･F

小島　朗
（松伏）
平成20年11月14日

P･H･F

里見義弘
（松伏）
平成20年11月14日

P･H･F

程田一夫
（松伏）
平成20年11月14日

P･H･F

中村泰子
（浦和西）
平成21年２月24日

P･H･F

和田英二
（浦和西）
平成21年２月24日

P･H･F

泉谷　聡
（浦和）
平成21年２月26日

P･H･F

秋元咸二
（戸田西）
平成21年２月27日

米山奨学会

P・H・F

長谷川美佐子
（戸田西）
平成21年２月27日

P・H・F

山崎雅俊
（戸田西）
平成21年２月27日

米山功労者メジャードナー(12)

田村亮夫
（川口モーニング）
平成20年10月31日

米山功労者マルチプル(8)

池田昭子
（川口西）
平成21年２月13日

米山功労者マルチプル(6)

河本順子
（大宮東）
平成21年２月13日

米山功労者マルチプル(4)

井原　實
（さいたま新都心）
平成21年２月17日

米山功労者マルチプル(4)

高橋明賢
（川口モーニング）
平成21年２月23日

米山功労者マルチプル(3)

山野光雄
（川口モーニング）
平成20年８月28日

米山功労者マルチプル(3)

竹本佳徳
（川口）
平成21年２月12日

米山功労者マルチプル(2)

星野吉延
（川口）
平成21年２月12日

米山功労者マルチプル(2)

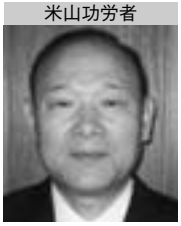
原澤　茂
（川口西）
平成21年２月13日

米山功労者マルチプル(2)

峯野康裕
（大宮南）
平成21年２月20日

米山功労者マルチプル(1)

程田一夫
（松伏）
平成20年12月３日



米山功労者

竹内秀幸
（川口モーニング）
平成20年９月１日

米山功労者

関根隆光
（岩槻東）
平成21年２月18日

米山功労者

中村泰子
（浦和西）
平成21年２月24日

米山功労者

福田行宗
（浦和西）
平成21年２月24日

準米山功労者

馬籠光廣
（川口）
平成21年２月12日

新会員

若盛圭恵
（松伏）
平成20年12月９日入会
㈻若盛学園
まつぶし幼稚園
学校法人

會田俊雄
（幸手）
平成21年１月７日入会
㈲カイダ
接骨院

廣井慎一
（杉戸中央）
平成21年１月８日入会
㈱ヒロイ
塗装・防水業

貫井功二郎
（川口北）
平成21年１月14日入会
㈲貫井電機工事
電機工事

岡村哲也
（上尾西）
平成21年２月４日入会
㈲テッチシステム
コンピューターソフト

加藤行夫
（杉戸中央）
平成21年２月５日入会
埼玉農機㈱
農機具販売

岡澤清勝
（上尾）
平成21年２月12日入会
㈱ナレッジシステムプラネット
サービス業（IT 関連）

須田悦正
（上尾）
平成21年２月12日入会
須田商店
小売業

文庫通信（258号）

◙ ロータリー情報として ◙

◎「他人の金で奉仕をするという虚構」　佐藤千壽 PG 遺稿　2009　8ｐ　(D.2790月信)
◎「ロータリーを見直そう」　千玄室　2008　8ｐ　(D.2650地区大会)
◎「識字力あれど識智力のない日本」　佐藤千壽・深川純一　[2008]　18p　(D.2680地区大会)
◎「決議23−34その存続の危機」　田中毅　2008　12p　(D.2710IM 報告書)
◎「ロータリー理解推進月間にあたって」　戸田孝　2009　1ｐ　(D.2660月信)
◎「ロータリー理解推進月間（ロータリーの広報を考える）」　塚原房樹　2009　2ｐ　(D.2510月信)
◎「ロータリー理解推進月間」　足立功一　2009　12p　(D.2500月信)
◎「ロータリー理解推進月間によせて」　三軒久義　2009　1ｐ　D.2640月信)

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF)］

2008～'09年度 2月の会員数及び出席報告

グループ	クラブ名	2008年7月1日現在	内女性	当月末会員数	内女性	当月入会	当月退会	増減	当月出席率	当月順位	通算順位
第一グループ	浦和	102	2	105	1	1		3	91.45	16	8
	浦和東	73		72				−1	87.49	30	19
	浦和南	37		37					87.90	27	12
	浦和中	44	2	43	2			−1	81.70	52	29
	浦和ダイヤモンド	19	10	21	11			2	97.00	2	2
	第1グループ計	275	14	278	14	1	0	3	89.11		
第二グループ	浦和北	79	6	77	5			−2	94.55	6	9
	さいたま中央	48		51	2			3	79.41	58	42
	浦和西	14	3	13	2			−1	86.54	33	18
	浦和北東	40	1	39				−1	78.20	62	71
	さいたま新都心	38		40				2	89.47	21	14
	浦和イブニング	11	1	10	1			−1	80.00	55	67
	第2グループ計	230	11	230	10	0	0	0	84.70		
第三グループ	大宮	59		61				2	81.30	53	46
	大宮南	35	5	36	5			1	83.33	45	38
	大宮中央	58		56				−2	72.72	73	77
	大宮南東	8	2	8	2				87.50	29	37
	大宮シティ	56	6	58	6			2	81.87	51	53
	さいたま欅	21		22	2			1	77.27	63	60
	第3グループ計	237	13	241	15	0	0	4	80.67		
第四グループ	大宮西	46		47				1	86.76	31	68
	岩槻	35	3	38	4			3	65.76	79	82
	大宮北	32	1	31	1			−1	91.95	15	49
	大宮南西	17	1	18	1			1	76.39	68	78
	大宮東	41	1	37			2	−4	93.69	7	1
	岩槻東	34		33	1	1		−1	88.12	24	56
	大宮北東	17	2	21	2			4	72.61	74	65
	岩槻中央	19		19					92.15	12	13
	第4グループ計	241	8	244	9	1	2	3	83.43		
第五グループ	上尾	44		48		2		4	88.02	26	51
	鴻巣	36	1	35				−1	85.71	39	22
	桶川	28		29				1	88.22	23	44
	上尾西	52		51		1		−1	95.99	4	11
	北本	8		8					62.50	80	76
	上尾東	26		25				−1	77.00	66	69
	上尾北	32		31				−1	75.20	70	27
	鴻巣水曜	33	3	31	3			−2	89.65	20	57
	桶川イブニング	18	2	18	2				83.63	43	59
	第5グループ計	277	6	276	5	3	0	−1	82.88		
第六グループ	春日部	45		44				−1	92.10	13	21
	杉戸	29	2	26	2		1	−3	78.93	60	63
	春日部西	37	4	35	3			−2	86.33	37	58
	庄和	24		22				−2	86.00	38	45
	春日部南	28	5	27	5			−1	67.89	78	75
	春日部イブニング	18	1	22	1			4	89.39	22	28
	杉戸中央	22		24		1	1	2	74.67	72	72
	第6グループ計	203	12	200	11	1	2	−3	82.19		

グループ	クラブ名	2008年7月1日現在	内女性	当月末会員数	内女性	当月入会	当月退会	増減	当月出席率	当月順位	通算順位
第七グループ	幸手	47	3	45	2			−2	86.66	32	55
	蓮田	31		30				−1	90.00	17	43
	久喜菖蒲	56	2	55	2			−1	86.34	36	31
	栗橋	15		14				−1	86.35	35	35
	白岡	5	1					−5			81
	幸手中央	25	1	25	1				93.00	10	61
	第7グループ計	179	7	169	5	0	0	−10	88.47		
第八グループ	越谷	77		78				1	79.50	57	5
	越谷南	47	2	44	2		1	−3	76.40	67	66
	越谷北	45		52			1	7	83.10	47	33
	越谷東	45	4	47	5			2	77.24	64	50
	越谷中	17	1	17	1				70.31	77	79
	第8グループ計	231	7	238	8	0	2	7	77.31		
第九グループ	草加	23	2	22	2			−1	56.41	81	80
	八潮	49	6	47	5			−2	86.45	34	40
	草加南	18	2	19	2			1	71.43	76	41
	八潮イブニング	26		28	1			2	80.95	54	34
	草加イブニング	11		11					84.09	41	52
	八潮中央	17		16				−1	93.33	8	3
	草加中央	27		27	1				84.00	42	15
	八潮シティ	18		18					75.92	69	73
	草加21	10	4	10	4				75.00	71	4
	第9グループ計	199	14	198	15	0	0	−1	78.62		
第十グループ	吉川	31	2	32	2			1	83.33	45	32
	三郷	31	2	29	2		1	−2	92.44	11	36
	三郷中央	25		25					77.17	65	23
	三郷ウェンズデー	19	1	20	2			1	93.33	8	39
	松伏	12	2	12	3				100.00	1	7
	第10グループ計	118	7	118	9	0	1	0	89.25		
第十一グループ	川口	73	11	77	11			4	83.02	48	62
	鳩ヶ谷	30		32	1		1	2	92.00	14	54
	川口東	21	1	22	1			1	81.90	50	16
	川口・鳩ヶ谷武南	30	2	29	2			−1	89.83	19	47
	川口モーニング	28		29				1	88.10	25	30
	川口南	32	6	31	5			−1	79.16	59	74
	鳩ヶ谷シティ	19	2	16	1			−3	96.58	3	26
	第11グループ計	233	22	236	21	0	1	3	87.23		
第十二グループ	戸田	52	5	53	6			1	83.50	44	48
	蕨	32	1	32	1				85.28	40	24
	川口西	32	4	27	4		1	−5	82.91	49	64
	戸田西	33	3	32	3			−1	95.16	5	25
	川口北	34		35				1	87.57	28	6
	川口北東	37	3	37	3				78.26	61	17
	川口中央	14	1	16	1			2	90.00	17	10
	川口むさし野	14		16				2	80.00	55	20
	戸田イブニング	21		21					72.50	75	70
	第12グループ計	269	17	269	18	0	1	0	83.91		
	地区合計	2,692	138	2,697	140	6	9	5	83.98		

ロータリーとその家族

夢をかたちに ～ 感謝

春日部ロータリークラブ
会長　小島喜久雄

『2009年１月22日』この日は、私にとって一生忘れる事の無い一日となりました。

2007年12月、タイ王国チェンライのNGO団体“さくらプロジェクト”が運営する［タイ山岳民族支援施設さくら寮］を訪れました。

さくら寮には、瞳がキラキラと輝く多くの子供達が、生活しておりました。

［この子供達の為に何か出来ないだろうか］と考え、寮の責任者である三輪さんと何度か話合いを行いました。その中で、（井戸掘りと井戸水浄化システム）の希望が感じられました。

私の年度のメイン事業として、国際奉仕委員会に活動をお願いする決意を致しました。この話を2008年３月のPETS（会長予定者会議）の席上で第６グループの会長の前でお話したところ、島村ガバナー補佐を始め第６グループ全クラブの会長より賛同頂き「我々にも協力させてもらえないか」という大変温かくありがたい申し出を受け、私の夢はさらに大きく広がりました。

８月には共栄大学の学生２名を同行し、現地施設の調査を兼ね、１週間の奉仕活動をしてまいりました。又、現地チェンライロータリークラブの例会に出席し、協力要請を行いました。

クラブ内では、山﨑委員長を中心に国際奉仕委員会を（バザー・事業推進・訪問団）の３チームに編成し、準備に奔走致しました。春日部市国際交流協会との共催で実施した【バザー】には他クラブの皆様からも多くのバザー用品提供をいただき、予定以上の資金調達が出来ました。

こうしてすべての準備が整い、１月21日より他クラブメンバー２名を含む９名のメンバーで訪問いたしました。21日はバンコクに１泊して翌22日チェンライに移動、あらかじめ支援品の調達を依頼しておいたチェンライロータリークラブパスト会長パシェット氏のスポーツ用品店に出向き支援品、サッカーボール・バレーボール・卓球台・アコースティックギター・エレキギターベース・ドラムセット・アンプ・パソコン・事務机・作業台・いすなど山のような支援品をトラック２台につめこみ現地に向いました。現地にてすでに完成済みの井戸浄化システムと山のような支援品を目の当たりに見て、私はかたちになった夢の大きさに感動して足が震え涙が出そうでした。又、パシェット氏の好意で支援品を破格の値段で購入できたおかげで、別途６万バーツ日本円にして16万円の現金を追加支援させていただきました。この後、贈呈式・歓迎会とスケジュールをこなし夜にはチェンライロータリークラブ招待の夕食会と大変忙しい一日を無事終了することが出来ました。

最後に、私の夢にお付合いいただいた春日部ロータリークラブの全会員・第６グループ全クラブの会員の皆様・チェンライロータリークラブの会員の皆様又、春日部市国際交流協会を始めこの事業にかかわったすべての方々に深く感謝申し上げ、事業報告とさせていただきます。

的援助を得て、簒奪に成功する。

　このヘンリー４世は、功績を誇って目の上のこぶになったパーシー家を亡ぼしてしまおうと画策する。武力について自信満々のパーシー家は親子が一致して戦わなかった為に、各個撃破されてしまう。次の国王になるヘンリー５世は日常放蕩無頼の生活をしていたのに、この戦いでは人が変った様になり、パーシー家の息子ヘンリーを戦死させる。ヘンリー・パーシーはホットスパー、即ち熱している拍車の異名をとる暴れ者で、今ならいつもアクセルを踏み続ける男と言うことになるだろう。

　このヘンリー・パーシーは先年なくなったダイアナ妃の先祖の１人でもある。頼みの息子が敗死したパーシー家はスコットランドに援軍を求めて、国王軍と戦うが、ここでもヘンリー５世の健闘に敗れる。

　パーシー家はここで消滅せず、バラ戦争にも名前が出て来るが、ランカスター家とヨーク家の王位争奪戦では貴族階級が豪族としての力を失い、宮廷貴族になり下ってしまったから、パーシー家もここで終ったのかも知れない。その後ノーサンバーランドの領主はパーシー家ではなくなるからである。

　この史劇には、最高の３枚目としてフォルスタフと言うヤクザのナイトが登場することもあって、大人気である。遊び人の王子ヘンリーが急に英雄になる点も、日本の遠山の金さん風であり、２人のヘンリーの決闘場面も呼び物である。

　ポール・パーシー・ハリスのパーシーはどうやら、このパーシー家から頂戴したミドルネームらしいが、確かな事情は不明である。

　アメリカと言う国は、移民から独立戦争迄イギリス国王の意に逆らった謀反人の建てた国家である。ポールの性格から考えて、パーシー家縁の家柄を自慢するとは思えないが、「俺には反逆者の血が流れている」と言って、反骨を売り物にしたがる気質がある。

　イギリスや英国関連国家に行った時は、このパーシーなるミドルネームを質問され、ニコニコしながらシェークスピアを語ったと思われる。

　日本のロータリーが、ポール・ハリスと言ってミドルネームを省略したのは、日本にロータリークラブを導入した人達が英文学に興味がなかった為と思っている。

　米山梅吉の頃アメリカに留学した人達は資本主義経済を勉強に行ったのであり、シェークスピア迄読まなかったのだろう。

ヘンリー４世
(Henry　Ⅳ,1367年－1413年)
イングランド国王
(在位：1399年－1413年)

　エドワード３世の第３子ジョン・オブ・ゴーントと初代ランカスター公ヘンリー・オブ・グロスモントの次女ブランシェ・オブ・ランカスターの長男として生まれる。リンカンシャーのボリングブロク城で生まれたので、ヘンリー・ボリングブロク（Henry Bolingbroke）とも言われる。

　1380年、ヘリフォード伯ハンフリー・ド・ブーンの次女メアリーと結婚。1390年から1392年にかけてドイツ騎士団のリトアニア遠征に加わった。

　父ジョン・オブ・ゴーントの死後の1398年、従兄のリチャード２世にランカスター公領を没収の上、パリに追放されて相続権を奪われた。1399年７月４日にイングランド上陸。８月にはアイルランド遠征から帰還途中のリチャード２世をウェールズとの国境で破り、リチャードを逮捕した。９月30日、議会はリチャード２世の廃位とヘンリーの王位継承を議決、ランカスター朝を開いた。

　治世の初期、ウェールズでのオウェイン・グレンダウァーの反乱や、ノーサンバーランド伯ヘンリー・パーシーの反乱などに悩まされたが、長男のハル（ヘンリー５世）らの働きもあって晩年の治世は安定した。

　1413年、リトアニア遠征の時にかかった伝染性疾患のため、ウェストミンスター・アベイで死去した。

（Wikipedia より）

ロータリーエッセイの予定

(1) ポールへの興味
(2) メイフラワー号とハリス家の関係
(3) 独立戦争前後と宗教的不寛容排除
(4) ゴールドラッシュとポールの母方祖父
(5) 南北戦争と戦争絶対反対
(6) 大膨張時代とポールの青春遍歴
(7) ロータリアンへの教訓
(8) ポールがロータリーに求めたもの
(9) シカゴでの弁護士生活
(10) ポールのミドルネーム
(11) エマソンの思想とロータリー
(12) ポールの性格
(13) アメリカ史の魅力

ロータリーエッセイ

(10) ポールのミドルネーム

浦和ロータリー・クラブ　矢作　好英

ポール・パーシー・ハリスは「教養を身につけよ」と説いたが、教養とは何だろうか。

辞書を引くと、「広い知識による心の豊かさ」と書いてあり、旧制高校では教養第一主義を取って来た。

私なりに考えると、商売用の学問や知識は教養に入らないから、職業とは別の分野に属していなければならない。学問とは系統的知識の集合体だから、必ずしも学問の域に達していない、雑多な知識でも良いことになる。心が豊かになる必要があるから、只知っているだけでは駄目で、持主の大切な時期の行動に指針とならなければ意味がない。

「流石にあの人は教養があるから、出処進退に誤りがない」と世間の人が感心する程度の人格的発露が肝要である。政財界で老害を云々される迄ポストにこだわる人達は、結局ポールの言う教養が身についていなかったことになる。

何処の国にも国民的作家と称される人が居て、時代によって変化するものの、全く無視出来ない程その国の人達の心に影響を与える文学を書いている。立場や好みによって違うかも知れないが、イギリス人乃至イギリス系他国民にとって、シェークスピアは当に国民的作家になるだろう。彼の戯曲は、彼の名を知らない人々にも熟知されており、演劇には め込んだ名文句は英語のボキャブラリーを増やしている。

ここで私の推論を御披露するので、ロータリアン諸兄姉の御意見を伺いたい。

日本ではポール・ハリスと言うが、アメリカのロータリー雑誌や著書では、ポール・パーシー・ハリスとミドルネーム入りで書かれるのが普通である。

ミドルネームの意味は各民族によって異なるが、古代ローマでは有力者の家子郎党が主人格の許可を受けて使用したと言う。塩野七生女史の「ローマ人の物語」の受売りをすると、こうなるらしい。ローマでは任期1年で公務員を選挙で決めるが、誰でも立候補出来る訳ではなく、貴族や富豪に限られる。選挙になると、日頃面倒を見てもらった家門出身の候補者を担いで争うことになる。出て来る名門の旦那をパトロネス、つまりパトロンと言う。集まって選挙戦を展開する輩をクリエンタス、即ちクリアンテイルで、英語の辞書には得意先、常連とある。このクリエンタスが、ファーストネームとファミリーネームの間に主筋の姓をミドルネームに入れる習慣があった。日本流に言えば、石松・清水一家・森になる。

名乗りを認められた時はそれなりの事情があっただろうが、養子縁組や同盟締結程格式張った関係ではないから、何百年も経てば経緯や理由は判らなくなってしまう。何か縁があったことは確かだが、こんなことではなかろうか、と推測するしかない。

西ローマ帝国時代に、ガリア出身の議員にカエサルのミドルネームを持つ人が良く出て来ると言う。塩野女史の推理では、カエサルがガリア平定のみぎり、初めから彼に従った酋長にミドルネーム使用を許可したのではないか、と言うことになる。こんな話は歴史の本には出て来ないが、ローマ人の習性からすると、大いにあり得る話である。

そこでポール・パーシー・ハリスのパーシーについて考えて見たい。ヒントはハリス家の先祖がスコットランド出身らしいと言う点である。英国史上有名と言うより、唯一と思われるパーシー家はイングランドとスコットランドの国境近くに住んでいたノーサンバーランド伯爵の称号を持つ大豪族である。

シェークスピアの悲劇は有名だが、英国で繰返し演じられるのは歴史劇で、ジョン王からヘンリー8世迄の諸王の時代がテーマである。

この中で傑作とされているのが、「ヘンリー4世」である。ヘンリー4世は時の国王リチャード2世の従兄弟だが、国王に危険視されて、フランスに追放される。リチャード2世がアイルランドに出征している隙に英国に潜入し、パーシー家の全面

写真で見る ロータリーとその家族

越谷南 RC

タイ国 アユタヤロータリークラブへ水槽付消防自動車寄贈

タイ国 ウドンターニロータリークラブへ救急車寄贈

東武伊勢崎線蒲生駅東口前に時計と記念石碑寄贈

青少年交換スキーツアー

「節分」で盛り上がりました

ミニ雪ダルマでハイポーズ

大宮西 RC

台湾南投扶輪社へ公式訪問

大宮北 RC、竹山扶輪社との 4 クラブ合同例会

浦和北 RC

タイ北部山岳民族の子供たち

ビチャイラクタル元 RI 会長とともに

タイ北部山岳少数民族へ 通学用リサイクル自転車を、メナム小学生寮へ ベッド・文房具・子供服を贈呈

浦和北ロータリークラブ　渡邊　和良

タイ・バンコクスリオンロータリークラブと記念写真

▲贈呈されたベッドと自転車

2008年12月、浦和北ロータリークラブでは、タイ・バンコクスリオンロータリークラブとの共同事業で、学校まで山道を10km 以上歩いて通学するタイ北部山岳少数民族の学生向けに、450台のリサイクル自転車を贈呈しました。

2009年 2 月には、チェンマイから車で山奥に入ること 2 時間のメナム小学生寮を訪問。学校が遠くて通学できず、親元から離れ寮生活をしている児童たちに、2 段式ベッド18台・文房具・子供服などを贈呈してまいりました。

このページは皆様のクラブやロータリー家族からの投稿を写真入りで掲載します。
投稿はガバナー事務所まで。E-mail : ri2770iwabuchi@plum.plala.or.jp